

# せいろうまち 聖籠町

# 議会だより



オリンピックメダリスト太田選手も出場（フェンシング団体プレ大会）

**12月定例会 主な質疑** 3～6ページ

臨時議会で地域活性化対策事業を審議 8ページ

10議員が一般質問 10ページ

亀代小学校給食コンテナ落下死亡事故を調査 21ページ

VOL.  
**85**  
平成21年1月9日発行



# 新発田地域広域事務組合、 共同処理事務廃止

新発田地域広域圏の合併が進み、平成21年3月31日をもって新発田地域広域事務組合の共同処理事務の廃止及び規約の改正にともない、財産処分を定め、出資団体に当核基金を清算する。聖籠町に出資割合で按分した金額で7260万円が清算される。

## 12月定例会

平成20年第4回定例会は、12月7日から11日までの5日間で開かれました。町長から行政報告があり、聖籠町職員の自己啓発等休業に関する条例と聖籠町国民健康保険条例の一部改正など14議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。また、固定資産評価審査委員の選任同意1件、人権擁護委員の推薦2件は適任と決定しました。

なお、動物「移動（訪問）火葬車」不使用への陳情書は継続審査になりました。

一般質問では、10人の議員が、図書館、町長の充て職、災害対策などについて町政を質しました。

### 網代浜緑地整備工事 工事の変更契約 (1工区・2工区)

平成20年6月に着手した、網代浜緑地整備工事（1工区・2工区）の工事内容に変更が生じました。変更事項は、水替工、手すり設置、廃材処分費です。

予期せぬ発見  
ふるさと整備課長  
整地段階で予期せぬ廃棄物が出てきた。

廃棄物の処理費をみていなかったため、変更の対象となった。

#### 主な質疑

廃棄物はいつ出てきた

五十嵐利栄議員 網代浜緑地整備工事の廃棄物はいつ出てきたのか。工事場所以外のところの調査はどうするのか。

廃材の出身は

小川益一郎議員 廃材の出身は何なのか。また、いつ頃からの廃棄物なのか、原因はわかったのか。

確認できない

ふるさと整備課長 ハイ プラ、農業用ビニール、一部廃タイヤが出てきた。海岸地帯でもあるので、海からの漂流物もここに蓄積した可能性もあると思う。いつ頃からの廃棄物かは、わからない。



▲着々と工事が進む網代浜緑地整備



# 一般会計補正予算

住民税制度改正対応システム改修業務委託料 1046万円  
 聖籠海洋レクリエーション交流拠点施設整備工事 1030万円  
 財政調整基金積立金 1億7984万円

## 主な質疑

この時期に  
なぜ補正

加藤正之議員 歳入で中  
小企業振興資金貸付金回  
収金と排水設備等設置資  
金貸付金回収金が今この  
時期になぜ補正なのか。

当初予定より  
多かった

主なものは、住民税制  
度改正対応システム改修  
業務委託料1046万円、  
聖籠海洋レクリエーシヨ  
ン交流拠点施設整備工事  
1030万円、財政調整  
基金積立金1億7984  
万円などです。

産業観光課長 銀行預託  
金で貸付当初4件を予定  
したがすでに3件貸し付  
けがされている。  
追加分5件を補正とし  
て計上させてもらった。  
3月までに執行されな  
ければ減額予定である。

## 銀行預託金である

上下水道課長 預託金が  
既に貸し付けが38件あり  
銀行残高が数十万円とな  
った。  
今後20件ぐらい見込ん  
で計上した。



▲接続が進む下水道事業

## 減額の理由は

手島八郎議員 学校給食  
共同調理場ボイラー改修  
工事、仕様が変わったの  
か、請負費でなぜこんな  
に減額なのか。

## 請差である

学校教育課長 仕様は変  
わっていない。入札の結  
果請負差額が生じた。

## 時間外勤務が心配

五十嵐利栄議員 一般管  
理費で時間外勤務手当が  
相当発生しているが、規  
定を超えていないのか、  
背景にサービス残業はな  
いのか実態は。

また、今の時期に特殊  
勤務手当での理由は。

## サービス残業はない

総務課長 総務課1人減  
と広域連合の業務課に1  
人、また、厚生労働省に  
も1人が出向している。  
出向者の時間外手当に  
ついては町が負担してい  
る。サービス残業はない。

### 想定外の会議

**国体推進室長** サービス残業はない。

新潟県と共催の事業なので、想定外に夜の会議や急な報告等で残業が多くなっている。

### 時間外手当である

**税務財政課長** 特殊勤務手当ではない。

前年対比、1人減の中で事務処理が増えており、その時間外手当である。

### 職員の健康管理は大丈夫か

**小川益一郎議員** 広域連合や厚労省など、出向先での時間外人事管理の問題について、町長の考えは。

### 今後も配慮していく

**町長** 時間外勤務をしなければならぬ時は、担当課長の指示を受けてやるのが原理原則である。

職員の健康管理、安全衛生管理を徹底したい。広域連合に対しても広域の事務局を通してお願いしている。

後期高齢者医療制度が目まぐるしく変わり、やむを得ない事情もある。

### 森林病害虫防除対策

**五十嵐利栄議員** 松くい虫の予算が上がっているが、現状と今後の対応はどうするのか。

### 民地にも拡大

**産業観光課長** 保安林等の防除事業は継続して行っている。

今回は、民地等の松で

松くい虫にやられたので町の方で切ってほしいと依頼があった場合の補正である。

### 委員は決まったのか

**宮沢光子議員** 次世代育成支援対策行動計画の後期委員は決まっているのか。委員の公募はしないのか。

また、後期計画においても、前期の学識経験者に依頼するのか。

### 交渉中である

**町長** 後期の委員は、基本的に、前期に精通している委員で構成したい。

前期で公募した委員も含めて継続をお願いしている。新たに公募はしない。

### 保健福祉課長

後期計画に向けて12人の委員に依頼している。

学識経験者については引き続き依頼する。

### 町の負担あるのか

**小川益一郎議員** 住民税制度改正対応システム改修業務委託料について、町の負担はどうなるのか。

### 町の持ち出し

**町長** 住民税のシステム改修については、制度改正を地方に体制整備求めているのが実体である。

聖籠町は不交付団体なので、すべからず持ち出しになる。



▲松くい虫から保安林を守ろう



▲気持ちをひとつに音楽発表会

### 主な質疑

#### 広く人材を求めよ

**小川益一郎議員** 固定資産評価審査委員の選任について、渡邊氏は、元役場職員で固定資産についても優秀な知識を持っていることはわかるが、一般町民から見るとどうなんだろう。

公平、公正、中立の立場から見て課税側の中にいた人を選任するのはいかがかと思う。広く人材を求めてはどうか。また、あらゆる委員に

も偏りがあるのではないかと。町民からも声が出ている。

各委員の選任について、町長の基本的な考えを聞きたい。

#### 地域バランスを考慮

**町長** 渡邊氏については、同委員として期待される知識を十分に備えており、適任と考え提案した。

また、地域バランスを考え、亀代地区からの意見を求める上で渡邊氏が一番適任ではないかと提案した。



▲公正、中立な人材を

## みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、陳情1件が審査され、継続審査にすることに決定しました。

### 継続審査にした陳情

#### ◎動物「移動（訪問）

火葬車」不使用への陳情（提出者 日本動物霊園連合代表 久喜 清外）

#### （理由）

本案件は、詳細な調査が必要であるため。

### 固定資産評価審査委員に

## 渡邊 幸明 さん



固定資産評価審査委員である長谷川徳さんの後任として、網代浜の渡邊幸明さんを全会一致で同意しました。渡邊さんは、長年にわたり町職員として奉職され、その豊かな行政経験により、同委員として期待される知識を十分に備えている人です。今後の手腕に期待します。

### 人権擁護委員に

## 齋藤 常雄 さん



人権擁護委員である深井一成さんの後任として、網代浜の齋藤常雄さんを全会一致で適任と認めました。齋藤さんは、長年にわたり町職員として奉職され、人格、識見共高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会で信頼も高い人です。今後の手腕に期待します。

### 人権擁護委員に

## 吉井 美穂 さん



人権擁護委員である丸瀧の吉井美穂さんが、平成21年3月31日で任期満了になることから、再度推薦されました。全会一致で適任と認めました。吉井さんは、人格、識見共高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会で信頼も高い人です。引き続き手腕を期待します。



# 読者の声



渡辺 豊さん  
(網代浜)

## 「近頃思う事」

興味本位の拾い読み程度ですが、毎号興味深く拝読しています。

旬なトピックを詳しく提供してくれる「広報せいろう」、町が抱える問題点や提言、町の現在と近未来が俯瞰できる「議会だより」どちらも大変わかり易く編集されており、また、町のHPよりバックナンバーの閲覧もできるので大変便利です。

先日も長女が通う聖籠中学校の様子を知りたくて「学年だより」を第一号から最新号まで順番に眺めてみました。家庭に向けての連絡などわかり易くまとめられていること、そして何より発生した問題に対してきちんと向き合い、きめ細かに対応頂いている様子に胸が熱くなりました。

一方で町の教育行政のシステムや情報の公開については不明瞭な点があるように思います。

町内の学校は、教育委員会をはじめ学校運営協議会など様々な団体が関与していますが、それぞれについて責任を負う業務の所在と範囲を明確に提示して頂きたい。

案件について可能な限りPDCAに則った報告の公開を「わかる場所にわかる形で、きめ細く」行って頂きたい。折角、双方向情報媒体としてのHPが整備されているのだから。

今やアメリカ発の未曾有の不況により不安と混乱が蔓延しています。片や日本人4人ノーベル賞受賞という明るい話題もあります。

町には安心と希望を与えてくれる政策と「知育・徳育・体育」と国内で一目置かれるような教育の実現を希望しています。

### ●地域活性化対策事業

### ●東港地区コンビナート防災訓練

### ●「芸術・スポーツ文化のまち」のモニュメント完成

## 行政報告



渡邊町長

▼昨今の景気後退による町民の生活・経済不安に対処するための施策として、15%の割引商品券を2億円規模で町商工会への補助事業とする地域活性化事業を開始。

12月16日から地域活性化対策券の販売並びに取扱店での使用に向け、万全を期したい。

この事業が、聖籠町内の地域活性化に大きく貢献できるよう努めます。

利用いただく町民各位、

防災体制の強化につながるものと考えています。

▼「芸術・スポーツ文化のまち」の宣言文をいたしました。その宣言文をプレートにしたものを付けたモニュメントが完成しました。

町の文化振興のシンボルとしてみなさんと町が協働しながら、更に、心豊かな町づくりに向かつて文化振興につとめます。

▼国体推進については9月にセーリングプレ大会が無事終了し、10月に第44回全国社会人サッカー選手権大会が新潟市、新発田市、聖籠町と共同開催され無事終了しました。

12月に第41回全日本フエシング選手権大会がプレ大会として開催されます。

今後、来年度に向けて万全な体制で国体成功に向けて準備を進めます。

# 第2回臨時議会

## 地域活性化対策事業を審議

平成20年第2回臨時議会が、11月21日、1日間の日程で開催されました。

提出された議案は、聖籠町地域活性化対策事業補助金3226万円の補正予算で慎重に審議し、可決しました。

地域活性化対策事業の内容は、町民（中学生以上）並びに町内法人を対象に、商品券（15%割引券）2億円分を販売します。

15%の割引分（3000万円）を町が商工会に補助して実施します。

1次販売方法は、各集落区長に依頼し、世帯ごとに申し込みを受け、商工会で販売します。

法人及び2次販売以降は、商工会において直接販売します。



▲地域活性化が期待される

### 主な質疑

#### 2億円の根拠は

**小川益一郎議員** 前回の全員協議会の中では、1人の販売上限を15万円にしていた。今回、上限を5万円にしているが、なぜなのか。

2億円分の商品券を販売する計画であるが、2億円の根拠はどこにあるのか。商品券の偽造防止策は考えているか。

#### 年末年始の販売実績の10%

**町長** 当初、5000円券は5万円、10000円券については10万円、合わせて1人15万円の上限を

考えていたが、全員協議会での意見を参考に上限を5万円にした。

町の平均世帯数が、約3・5人であることも考慮した。1人5万円にすることで広く町民に買ってもらえると思う。

2億円の根拠は、町内の小売業者の年間販売実績は、約200億円。

その中で、年末年始は、通常の月の20%増、約20億円である。その10%程度の貢献度ということで計画した。偽造防止については、現在の印刷上の最新の方法で防止に努めたい。

#### 検証すべき経済効果の成果

**加藤正之議員** 町民と町内事業所に活性化と経済浮揚をはかるということだが、2億円のうち、町内の商店にどのくらいの経済波及効果を見込んでいるのか。

事業の成果は検証すべさと思うが、考えているか。

#### できる限り検証したい

**町長** 小売業にとつて、平均して5%から10%くらいの経済効果が、2億円の中ではないか。

事業の成果は、商工会の報告書に基づいて検証できるので、できる限り検証したい。

#### どう考えている2次販売

**五十嵐利栄議員** 2次販売は、商工会でということであるが、1次販売の売れ行き状況によつて2次販売の時期など変わってくる。2次販売について、どう考えているのか。

#### 状況を見ながら対応する

**町長** 1次販売で完売した場合、2次販売はなくなる可能性はあるが、町内世帯からの1次販売申し込みは、1億円程度になると予測している。

2次販売は、町民、法人等に販売するが、状況を見ながら対応する。

#### 使える場所の周知徹底を

**宮沢光子議員** 町民にとつて、商品券を使用する場合、日常の買い物をする範囲しか思い浮かばない。町内の商工業の中でどこで使えるのか、周知徹底をどう考えているか。法人等において、販売上限はどのくらいか。

#### 商工会会員の商工業者

**町長** 商品券を使える場所は、基本的にすべての商工会会員のところである。法人等に対する販売上限は、個人に対するものと同じく5万円である。



# 10議員が質問

## — 宮澤光子 議員 (10ページ) —

1. 読書推進計画の策定は
2. どう考える学校図書館司書の処遇
3. 高齢者世帯への見守り体制は

## — 加藤正之 議員 (11ページ) —

1. 給食配送事故の責任は
2. 農家のためにも改革を
3. 公用車で費用弁償疑問
4. 関係市町村長に働きを

## — 高松守雄 議員 (12ページ) —

1. 火災報知器の無料設置を
2. 非常時に優先的燃料供給の協定を
3. 派川加治川でアユの死原因は

## — 五十嵐利栄 議員 (13ページ) —

1. 環境対策の充実を
2. 東京事務所設置を

## — 田宮実 議員 (14ページ) —

1. 家族の絆を活かせ
2. 環境保全の今後は

## — 小川益一郎 議員 (15ページ) —

1. 商品券町の活性化に疑問
2. トキめき国体プレ大会の成果は

## — 小林政榮 議員 (16ページ) —

1. どうする不足する堆肥を
2. 生産調整未達どうする

## — 桜井怜 議員 (17ページ) —

1. 人口増加をはかる政策は

## — 中村恵美子 議員 (18ページ) —

1. 借りられる融資制度を
2. 無保険証の子をなくして

## — 堀常正 議員 (19ページ) —

1. 貸付金制度に条件緩和を
2. スポーツ事業の展開は
3. 国体プレ大会は

ズバリ  
直言

町政を問う

一般質問

# 読書推進計画の策定は

## 教育長 策定していない



宮沢 光子議員

**問** 町長の政策の中に、数年前から図書館が色濃く出てきた。

図書館を新築か増築かは、図書館建設調査委員会の答申後、町長の政策で決まる。今後の推移を注目したい。

平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、全国各自治体で「子ども読書活動推進計画」が策定されている。

町の図書館が取り組んでいることを、町民にアピールするためにも「子ども読書推進計画」の策定は必要不可欠である。計画の策定・公表はどうか。

**教育長** 「子ども読書活動推進計画」は策定して

いない。しかし、趣旨は重要なものと認識している。

町の生涯学習プランができていないので、今後、整合性を考えて策定を検討したい。

## どう考える学校図書館司書の処遇

### 町長 当面は臨時職員として継続

**問** 平成18年度から町内3小学校の図書館に司書が配置され、学校図書館の環境は非常に改善された。

中学校の司書も含み、学校図書館司書4人は臨時職員である。今後この状況のままの処遇なのか。

学校教育課の所属ではなく、町立図書館に所属という形ではだめなのか。

**町長** 学校に司書を配置したことについては、今後実行効果、費用対効果を見ていく必要がある。専門職としての位置づ

けはあるが、当面は臨時職員として継続したい。学校教育課の所属については、教育委員会の部内協議の結果である。



▲読書の楽しみを伝えるおはなし会（亀代小学校）

## 高齢者世帯への見守り体制は

### 町長 さまざまな対策はしている

**問** 聖籠町でも65歳以上の一人暮らし、二人暮らし世帯が増えている。全国各自治体では、安否確認に家電機器を使うなど特色ある高齢者への施策が行われている。

数ある町の高齢者福祉の事業をネットワーク化して、さりげなく見守る体制の施策を立てるべきと考える。

**町長** 障害者や要介護者等に対して、さまざまな対策は講じている。健全な高齢者に対しては、老人クラブ等と連携して保健活動を推進している。

# 給食配送事故の責任は

## 町長 責任を痛感している

**問** 学校給食共同調理場の調理と配送業務を(株)聖籠の杜に委託しているが、この度重大な死亡事故が発生した。

町長は委託側の町の最高責任者であり、受託側でも筆頭株主として取締役の立場にある。

今回の事故の責任を、安全管理の面からどのように受け止めているか。

**町長** 町を代表する立場ではその責任を痛感している。

委託する側の代表であり、また、受託する立場

でのオーナー・取締役でもあり、直接的な法的責任はないとしても、道義的な社会通念上の責任は感じている。



加藤 正之議員

## 関係市町村長に働きを

### 町長 見直しを提起したい

**問** 町が負担金を出し、構成員になっている消防や火葬場の運営をする新発田地域広域事務組合等から報酬を貰っている。町が単独で運営しているれば報酬は貰わないはずだ。各組合の報酬規程を見直すよう、関係市町村長に働きかける考えはないか。



▲改革が待たれる広域組合

**問** 9月議会では「公用車で行って費用弁償を払うことは、倫理的に好ましくないなら将来考えた」と答弁したが、今すぐ考えられないか。

**町長** 9月議会での指摘を受けて、辞退できる県などの行政機関・団体等には、辞退を申し出て受領はしていない。

## 公用車で費用弁償疑問

### 町長 できるものは辞退

**町長** 各組合等の規約などについては議会の承認を必要とし、町長や議員の報酬も規程で決められている。

報酬見直しが提起されていることを、構成市町村長に話すことはやぶさかでない。

## 農家のためにも改革を

### 町長 内部干渉は差し控える

**問** 町長は町が出資している県農業信用基金協会から理事として報酬を貰っている。

農家が厳しい経営の中から捻出している保証料の一部が役員等の高額な報酬につながっていることに疑問を感じる。

**町長** 県・市町村・JAなどで構成する県農業信用基金協会の理事に就任したが、高額な報酬には驚いた。充て職の身分であり、組織のことについては内部干渉にあたるので差し控えたい。



# 火災報知器の無料設置を



高松 守雄議員

## 町長 検討に値する

**問** 平成23年5月31日までに住宅用火災報知器の設置が義務付けられているが、設置状況はどうか。設置していない家庭への啓発活動と併せ、一人暮らしの高齢者世帯に対する無料設置を行うべきと考えるがどうか。

共同購入を行い、設置率を高めている例があるが実施する考えはないか。

**町長** 本町では150世帯で設置されているが、指摘のように一人暮らしのお年寄りや障害のある方などを対象として検討に値すると思われる。

また、町としても各住宅の安心・安全・生命・財産を確保していく上での程度の政策対応していくか、来年度に向けて

**問** 災害時における、緊急車両への給油や、災害対応施設の自家発電装置・暖房装置への燃料供給が優先的にできるよう協定を締結すべきでないか。また、支障がなければ一般町民に対しても供給できるような体制づくりが必要ではないか。

これを実現するには、給油所に自家発電装置の貸与と自家発電装置を使用できる必要な工事を町で行い、協定に必要な措置を講じたらどうか。

すでに新潟市は優先的燃料供給協定済みである。

**町長** 非常時に燃料の供給体制を財政的に支援して確保することについて、ほかの企業等の関係を検討すると疑問を持つ。しかし、商工会を含め

検討中、共同購入することも一つの方法である。

## 非常時に優先的燃料供給の協定を

### 町長 時期尚早

た関係者で非常時に対応をということであれば、早急に協議したい。援助協定を締結して災害に備え、万全な体制を組みたい。

## 派川加治川でアユの死原因は

### 町長 水温の急激な変化

**問** 9月に東港の派川加治川で100匹余りのアユが死んでいるのが発見され、その後もう一度同じことがあったが原因は。町民が親しむ川をきれいに整備したらどうか。

**町長** この地点の工場排水の温度は30度程度と比較的高い工場排水で、水温の急激な変化も変死の原因の一つと示される。派川加治川全体の清流

の確保と環境保全をはかる意味での改修を進める。



▲災害時用自家発電機

# 環境対策の充実を

## 町長 十分対応していく



五十嵐 利栄議員

**問** ①生ごみ発酵肥料事業試験も3年目を迎えたが、将来の事業化を具体的に、どう考えているか。  
 ②国道113号線を中心とする道路周辺の騒音が、昼、夜基準値を大きく超えている。対策をどう考えているか。  
 ③派川加治川下流でアユのえい死が2回発生した。原因と対策は。  
 ④弃天濁の環境測定値は基準を大きく超えている項目が多く、夏場は魚が浮いている。阿賀野市の瓢湖は環境

測定値も基準内で魚も浮いていない。対策をどう考えているか。  
 ⑤蓮濁地内の旧焼却設備跡の燃え殻から検出された、ダイオキシンの数値は。  
 ⑥加治川右岸に埋設された産業廃棄物処理場から、有害物質などの発生はないか。

ついて、土地改良区とも協議していく。  
 ④弃天濁の水質は過去に比べ改善されているが、なお一層努力していく。  
 ⑤一時期、基準を上回るダイオキシンが検出されたが、最近の測定値は基準を下回っており、なお継続して調査していく。  
 ⑥4カ所稼動している最終処分場の監視井戸で、一社から基準を超える重金属が検出された。指導を徹底していく。

**町長** ①今後発酵肥料事業の拡大をしていく。②防音壁の設置、植物等の植栽、低音舗装などを考えている。③アユのえい死問題は、秋の水確保に

## 東京事務所設置を

### 町長 県の東京事務所を活用



▲拡大が期待される生ごみたい肥化

**問** 毎年拡大している、耕作放棄地対策をどう考えているか。企業や農協が土地を借りられる法案が決まっても、聖籠町の耕作放棄地の減少は難しい。  
 遊んでいる農地を耕して、聖籠町に住んでもらい、聖籠町の観光宣伝のセット販売をするために、聖籠町東京事務所を開設

する考えはないか。  
 荒れた農地を守り、人口増につながれば、町として活性化が促進される。  
**町長** 耕作放棄地の実態は指摘のとおりである。現状は、農業委員会で指導強化をお願いしている。

提案のあった、グリーンツーリズムに関連した、東京事務所の設置は気持としてやりたい。しかし、経費も相当かかるので、県の東京事務所や、原宿にある県観光物産施設を活用したい。

# 家族の絆を活かせ



田宮 実議員

## 町長 課題を大きく受止める

**問** 当町では、毎年文化の日に特別な功績のあった方、そして個人、団体に優秀、優良な方々に感謝状、または表彰状等が授与されている。

その中に夫婦3世代同一家族で生計を営んでいる家族も紹介された。

3世代同一家族で暮らすのはなかなか難しくできないものと思う。

3世代同一家族には子育ての面、また高齢者が病気で介護が必要になった時など安心して暮らせる。

今後はこのような家族を奨励したい。そして、家族の絆で子育てに励み、高齢者の病気等は家族介護で過ごせるのが最適かと思う。



▲家族が勢ぞろい3世代

夫婦共働きで、乳児等は朝目覚めるとすぐ保育園に送られ、そして一日の時間を園で過ごす。親より保育士との時間が多く、親子の絆が薄れ本当の育児には適さない。

3世代家族を多く推進して何か待遇措置を考えてみてはどうか。

**町長** 基本的には表彰状と記念品を差し上げている。3世代同一家族だからといって、現段階では特別な優遇措置は考えていない。

今後の検討課題として受止める。

## 環境保全の今後は

### 町長 収集エリアを拡大したい

**問** 生ごみ分別収集してたい肥化にする事業は、3年前からモデル地区を指定して行ってきた。これは生ごみを資源化しリサイクルを目指す一貫事業で取り組んできた。

この生ごみ収集事業と、今後の実施計画はどのように実行するのか。

**町長** 3年間のモデル的実証を行ってきた。現状では、稲の平、尾沢ヶ丘、ひばりが丘、その他学校や園の給食で出た生ごみを処理してきた。今後は、収集エリア拡大も視野に入れ、事業を前進させていきたい。



# 商品券町の活性化に疑問

## 町長 地域活性化のために

**問** 町の地域活性化事業として2億円の商品券が15%の割引で発売されることになったが、聖籠町の活性化につながるというのは甚だ疑問だ。

町長は「商品券を活性化させるためだ」といっているが、町民主体でなければならぬ。

どこの店で商品券が使用されるか明示されていないし、現金で前払いして買わなければならない。利用者の立場では、大変不明朗な取扱いになっている。

町長は「商品券発行に至ったプロセスと政策的発想について聞きたい。」



▲地域活性化に期待



小川 益一郎議員

# トキめき国体プレ大会の成果は

## 町長 おおむね予定どおり

**町長** 世界的な金融危機、原油の高騰、株、円高等々非常に厳しい現下の経済情勢が、我が町を含めた地域の景気冷え込みとなっている。

政策的に町民の皆さんにどう還元していくか、生活支援につながるものがあるか多角的に検証を

加えた中で政策決定し事務的なプロセスを踏んでいる。

予算を伴う場合は当然議会の議を経て承認の上町民サービスに還元する。

**問** ①トキめき国体を来年に控えて、県民あげてその成功に期待している。町に実施されるセーリング、サッカー、フェンシングは準備に向けてどうなっている。②プレ大会の終わった競技は予定通りか。③問題点はなかったか。④予算、人、物は、PRや町民の協力はどうか。⑤本大会に向けて何がどう必要か。⑥プレ大会では町民にどこまで協力を得られ、成果はどうであったか。⑦子どもたちに夢や希望を与えられる大会になれるか。⑧町内の経済波及効果は。

**町長** ①万全を期したい。②PR不足を反省。③セーリング大会、選手350人、役員450人、応援700人程度、金額5240万円。サッカー選手116人、役員181人、応援929人、金額900万円。④町民の協力が必要。⑤プレ大会は経費節減し役員職員を中心とした。⑥一生に一度の貴重な経験であり、見学、応援の機会を与えたい。⑦数字的に今の段階では試算出来ない。年度内に調査。

# どうする不足するたい肥を

## 町長 町総合計画に基づいて



小林 政栄議員

**問** 農業情勢の厳しさは、町長も十分承知のこととは思う。

しかし、農業を町の基幹産業と位置づけているのにも拘らず、各定例議会における発言は前向きではあるが、具体的な取り組みについて明言をしなかった。

水稲、果樹、野菜等の農産物が豊に実り、安全であるためには土が健康でなければならぬ。そのためには有機質肥料が必要だが、畜産農家が少ない町はたい肥が足りない。

そのために、実証試験をしている生ごみたい肥化事業を早急に全町化する必要がある。

**町長** 農業の振興については、計画に基づき体系的に支援を実行する。生ゴミについては、資源の再利用という環境的な側面からも対応をしていきたい。



▲今年も拡大する転作

## 生産調整未達どうする

### 町長 覚悟をもって取り組み

**問** 米の流通が自由化され、多様なルートを通じてさまざまな価格で取引されている現在、生産調整の完全実施をお願いするだけで、実現することは極めて困難な状況にある。

12月2日、県の発表によれば、総数量815万トンと据えおかれたが、本県は1690トン減らされた。

町は、転作面積の増加が予想される中、町長は従来の手法に協力した農家に利益のある対応をされることを強く望む。

**町長** 国の農政上の問題ではあるが、町としては生産調整に取り組まれた農家の経営に、不利益とならないように、不退転の決意をもって取り組む。

# 人口の増加をはかる政策は

## 町長 現状制度の施策をアップ



桜井 怜議員

**問** 総務省の住民基本台帳による人口動態によれば、20年度、県下で人口が増えた市町村は、聖籠町だけであった。

先般少子化対策に取り組み、栃木県鹿沼市を視察してきた。

う、総合的な少子化対策を実施していた。

若い人たちに2人以上子どもを産んでほしい。

そのために、第3子の子どもが生まれ家が狭くなり、家を建て替えた時、建築費の補助をしている。

また、借家住居で、第3子が生まれて狭くなり、外へ移るとなった場合は、家賃の補助、色々の優遇策を行っている。」

聖籠町は、18年度の出

生率でみると、1・51人。全国は1・37人、県では1・37人と国・県より高い。出生率を1・6または1・7以上と向上をはかるのに、鹿沼市の第3子対策事業のような少子化対策支援として、現状制度による、手当の上乗せをする。また、新たな制度による、子育てに取り組む家庭に、経済支援は考えているか。

**町長**

町民から預かって

政策、町づくりをやっている。安易な判断に基づ

くことは、どうなのか。

むしろ増額したり、拡大するよりも、子育て支援の中で、現在の社会情

勢での問題点を、どう政

策つけて対応していくかが、大きなテーマと考える。

来年度子育て支援の環境である、予防接種事業であるが、こども園に対する感染おたふく、水ぼうそうの接種、インフルエンザ感冒など、医療補助と同じ形での、施策ができないか指示している。

聖籠町の子どもたちは、虫歯が非常に多いことを受け、歯科保健計画をつくり、それに基づいた、新たな子どもたちの歯科検診の充実をはかる手段も、指示している。

3歳未満児の保育の要請が多く、それをどう政策づけたら良いか、来年度に向けて検討している。

総合的に勘案すると、現状での制度・施策等アップを基本的に考える。



▲少子化対策に歯止めを



# 借りられる融資制度を



中村 恵美子議員

## 町長 現行制度を周知徹底

**問** ①長岡市では、中小企業救済策として融資額に条件を設けず、信用保証料を全額補助している。村上市、三条市、新潟市なども中小業者の資金制度の保証料の補助など行っている。  
 聖籠町も融資の保証料を全額補助できないか。  
 ②本町では自治体発注の公共事業の日当たり賃金をつかんでいるか。  
 ③埼玉県では24自治体で住宅のリフォーム補助制度が行われている。  
 本町でも住宅のリフォームについて助成できないか。

**町長** ①本町では中小企業不況対策特別資金や中小企業振興資金など、町単独事業で融資を行っている。  
 保証料では一律50%補助し、平成18年度からは300万円以下は100%、300万円から700万円以下は75%、700万円から1000万円



▲住宅のリフォームに助成を

以下は50%と拡充をはかっている。現行制度の周知徹底し活用を願う。②日当たり賃金の実態調査はしていない。把握することは、できないことではない。③住宅のリフォームの助成については、個人の財産価値を高めることになり、この施策については考えていない。

## 無保険証の子をなくして

### 町長 個別に対応

**問** ①11月18日に新発田民主商工会と一緒に、国民健康保険証について要望を行った。

子どものいる世帯、せめて子どもたちへの国保資格証明書を発行しないでほしいという内容であった。世帯別に対応はするが子どもには発行することでのよいのか。②国民健康保険証の一部負担金の減免について、制度化の考えはあるか。③平成14年9月議会で、国保の傷病手当、出産手当の試算は行いたいということだったがどうか。

**町長** ①子どもの無保険は制度の理解を親に求め、個別に対応したい。②一部負担の減免は、国保会計が厳しいので、条例制度で定めているもので対応したい。③骨粗しょう症健診は、来年度に助成措置できるよう指示している。傷病手当、出産手当は調査がしにくい状況である。

**一口メモ**  
 ※子どもの無保険状態とは  
 保護者の国民健康保険料(税)の滞納により、保険証の交付が受けられず、その子どもが「無保険」状態になり、必要な治療を受けたくとも受けにくくなっている現状。

# 貸付金制度に条件緩和を

## 町長 現行制度を活用

**問** 企業倒産が相次ぐ厳しい経済状況にもかかわらず、国の支援は決定しない。町単独の貸付金制度があるが、審査が厳しく、せつかくの制度が活かしきれなくて、零細企業は困難に陥っている。

簡易に融資を受けられる短期的な借入れ制度の条件緩和や支援が考えられないか。

また、若い勤労者が住宅建設資金を有効活用して、町の建設業者が家を建てる抜本的な対策を求めたい。

**町長** 現行制度にも貸付余裕がある。有効活用をしてほしい。

住宅建設で商工業者の活性化支援については、難しい面があるが住宅の貸付制度の金額枠の拡大や、利子補給は新年度の懸案として受けとめている。



堀 常正議員

## スポーツ事業の展開は

### 町長 推進化をはかりたい

**問** 「芸術・スポーツ・文化のまち」宣言をし、宣言モニユメントの除幕式も行ったが、具体的な主要事業が見えてこないが施策をどのように考えるか。

また、旧北蒲原地区において、聖籠町のスポーツ活動は盛んであり、スポーツ活動の中枢的な役割を持っていたが、今後その継続と拡充の考えはあるか。



▲完成したモニユメントの除幕式（町民会館）

**町長** 公民館事業と共に対応し、スポネットせいろうとの連携を密にしながらスポーツ振興計画に基づいた対応をはかる。旧北蒲原地区のスポーツ活性化については、自治体のスポーツ振興、あるいは、競技力強化するためにお互いに共有して大会を開催することも大事であり、今後ともやっ

ていく必要がある。

## 国体プレ大会は

### 町長 無事終了

**問** トキめき新潟国体プレ大会のセーリング競技に関して、問題点、ボランティア活動、企業協賛の関心はどのようであったか。

**町長** 多少の問題点はあったが無事終了した。ボランティア活動は、敬和学園大学や、JAP ANサッカーカレッジの学生で対応をした。

企業協賛は1件となっているが、来年に向けて対応を今後ともお願いしていく。

# を調査・現地視察

## 大分国体を視察

総務文教

10月2日・3日、大分県で開催されたチャレンジ！おおいた国体の女子サッカー及びセーリングについて視察調査を行った。

女子サッカーが開催された中津市では、選手を一般家庭に宿泊させる民泊を地元自治会が受け入れていた。朝食と夕食は集落の公民館で自治会が作ったものを一緒に食べ、民泊経費は選手1人当たり7700円で、朝食7000円・夕食1400円を引いた残り5600円を集落と受け入れ家庭で折半していた。

民泊のため地元への経済効果は当然のこと、集落が揃いのTシャツで、民泊で受け入れたチームを特設スタンドで応援するなど、地域が一体的に盛り上がっていた。

聖籠町でも民泊を実施す



れば、経済効果も期待できるが、新潟国体では民泊はしない方針だとのことである。

## 水田農業確立実績 などを調査

厚生産業

11月20日、水田農業確立対策20年度実績について、加治川右岸松林自然公園用地について、及び聖籠町公共下水道事業について調査を行った。

①水田農業確立対策20年度実績は、水稲の一等米比率が県平均の84%を下回った。生産調整未達成面積は前年23haに対し、今年度はこれを上回る31haの見込みである。

一方直播栽培やこたわり農業の減々栽培が大幅に増加した。

②加治川右岸松林自然公園用地の調査では、町購入用地は当分自然公園の管理を行っていくことで、現状より景観を壊さない対策を要請した。

③聖籠町公共下水道工事は、平成19年度までの総事業費が231億円となり、平成



21年度で工事が完了する。10月末現在の水洗化率は約67%で県平均の83%を下回っている。

今後諸施策で普及率向上をはかる計画が示された。



# 委員会重要課題

## 亀代小学校給食コンテナ落下死亡事故を調査

### 連合審査会



1. 給食コンテナ落下死亡事故について

3こども園（幼稚園）・3小学校・中学校の7カ所の給食搬入口を視察調査したが、各搬入口はそれぞれ異なった構造・搬入環境下であり、統一性が見られなかった。

これは中学校を除いて以前は各園、校とも自前で給食を調理していたが、共同調理開始に伴って搬入口をそれぞれの現場に合わせて造った結果であると思われる。

特に今回事故が発生した亀代小学校は、給食配送車の荷台と搬入口の高さを調整するために、後輪用の木製の仮設調節台が設置されており、配送車が前方に出易い構造になっていた。また、蓮野小学校でも同じくコンクリート板で高さ調整がされていた。

給食は事故後の翌日も予定通り実施されたが、本来は事

故原因の究明と再発防止策を講じた後に再開すべきであった。給食を止めたくなかったとのことだったが、安全面への配慮が足りない。

事故後からは、①エンジン停止、②バックギヤを入れる、③車止めを2カ所に設置することを実施している。

児童については、幸い翌日の給食残飯も特に普段と変わらなかつたようだが、学校で起きた事故だけに、児童の心



のケアが必要である。

事故原因の究明については、警察署及び労働基準監督署の調査を待つが、特に問題がある亀代小学校と蓮野小学校の仮設調節台については早急に本工事に掛かること。また、現場の声を聞くなど、安全衛生面には今まで以上に配慮するよう要請した。

2. (株)聖籠の杜への業務委託について

事業所は従業員数によって、安全衛生委員会の設置と共に安全管理者・衛生管理者を置かなければならないが、(株)聖籠の杜の実態については把握されてなく、危機管理体制に問題があると思われる。早急な確認と場合によっては指導の必要がある。

給食調理等業務委託契約書については、一部不備が見られたので、次回の契約時には訂正するよう指摘した。

総務文教常任委員会と厚生産業常任委員会は、亀代小学校で12月4日に発生した給食コンテナ落下死亡事故及び(株)聖籠の杜への業務委託について12月9日、連合審査会を開催した。

町が4950万円を出資している(株)聖籠の杜にはざぶーん館及び町民会館のトレーニングルームの指定管理と学校給食共同調理場の調理業務を委託している。

## お知らせ

町政を知るよい機会  
議会を傍聴してみませんか  
今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろう。

あなたに身近なことかも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、3月初旬の予定です。



## お願い

あなたもみんなのページ  
聖籠町に嫁いで来た  
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-1967 (直通)

### 議会広報対策 特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	宮沢 光子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	中村恵美子
	田村富美男
	小林 政榮

# みんな

# の

# ページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん



圓山 理絵 さん  
(蓮野)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
友達から、網代浜でバーベキューをしているから来ないかと誘いがあったので、行ってみたところ、彼がいました。  
第一印象は、酔っぱらいでした。

**Q** 聖籠町に嫁いで来て  
どんなイメージを持ちましたか？

サッカーや野球、お祭りなど地域の人たちが集まるイベントに一体感があると思いました。

聖籠花火のステージを初めて見た時は衝撃的でしたが、今はトリコです。

**Q** 町での生活はどうですか？  
道がまだよくわからなかった頃、主人とともに犬の散歩をしながら、町の探検をするのが面白かったです。

今年は家族が増えるので、これからの生活がもっと充実しそうで楽しみです。

**Q** 町に望むことはありますか？  
小学生の元気な挨拶が大好きなので、これからも、そんな素敵な子どもたちが育っていく町であってほしいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新潟市出身で平成19年7月に蓮野に嫁いで来た圓山 理絵(旧姓 中野)さんです。  
皆さんよろしく申し上げます。

## 編集後記

新年おめでとうございます。

昨年は、世界のスポーツの祭典「北京オリンピック」が開催され、日本選手の活躍は、私たちに多くの夢と感動を与えてくれました。

また、学問では日本から4人がノーベル賞を受賞し、日本人として誇りを感じると同時に「継続」の大切さを改めて思いました。

さて、新しい年を迎え今年開催される新潟国体において、当聖籠町は数種の競技開催地となっています。私たちの聖籠町を全国へ発信するひとつの機会を有効に活用し、町づくりの一助として活性化につながるよう、このチャンスを活かしていきたいと思えます。

議会広報対策特別委員会  
委員 小林 政榮